

1月

1月の取扱量は、牛 9,611.5頭、豚 20,351頭、1日平均取扱頭数は、牛 506頭(前月比85.5%)、豚 1071頭(前月比120.1%)であった。

① 牛

最需要期である12月の翌月であるため、相場は総じて前月を下回った。年明けからしばらく相場は堅調に推移したものの、3連休後は末端需要が弱まり、和牛は前年同月より主要な等級で値を下げた。一方で、交雑牛は和牛の代替需要が続いており、前年同月より主要な等級で値を上げた。

牛枝肉(生体去勢)の月間平均価格は、和牛A4 2,255円(前月比219円安)、交雑牛B3 1,545円(前月比118円安)であった。

② 豚

年末年始の休みが長かったこと等により、初せりから高値で推移した。3連休後に需給が緩和し一旦相場は落ち着いたものの、下旬には豚熱の発生等の影響により高値傾向となり、上物の月平均が597円と、1月にしては異例の高値となった。

豚生体枝肉(上)の月間平均価格は597円(前月比40円安)であった。

2月

2月の取扱量は、牛 10,021.5頭、豚 19,064頭、1日平均取扱頭数は、牛 557頭(前月比110.1%)、豚 1059頭(前月比98.9%)であった。

① 牛

例年2月は不需要期にあたるものの、出荷頭数の減少もあり、和牛の相場は先月を上回った。交雑牛は、出荷頭数は増加したが、和牛の代替需要から相場は前年同月と同水準を維持した。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,310 円（前月比 55 円高）、交雑牛 B3 1,553 円（前月比 8 円高）であった。

③ 豚

上旬から寒波による生育不良や物流への影響が発生し、下旬にも輸入物の入荷遅れなどで供給が不安定になったことにより、上物相場は終始 600 円台で推移するなど高値を維持した。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は 620 円（前月比 23 円高）であった。

3月

3月の取扱量は、牛 11,217 頭、豚 20,003 頭、1日平均取扱頭数は、牛 561 頭（前月比 100.7%）、豚 1000 頭（前月比 94.4%）であった。

①牛

例年3月は、花見や歓送迎会等で需要が好転する時期だが、物価高の影響等により末端需要は弱く、相場は総じて前月を下回った。和牛は前年同月比こそ上回ったものの、交雑牛は前年同月比も下回った。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,275 円（前月比 35 円安）、交雑牛 B3 1,518 円（前月比 35 円安）であった。

②豚

例年不需要期であるものの出荷頭数が伸び悩んだこともあり、上物相場は引き続き 600 円台を維持し、3月としては高値相場となった。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は 614 円（前月比 6 円安）であった。

4月

4月の取扱量は、牛 12,511 頭、豚 20,117 頭、1日平均取扱頭数は、牛 596 頭（前月比 106.2%）、豚 958 頭（前月比 95.8%）であった。

①牛

例年、ゴールデンウィーク向けの手当てなどから相場が上がる傾向にあるが、和牛は前年同月こそ上回ったものの、前月とは同水準で推移した。交雑牛は和牛代替需要から前月を上回った。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,282 円（前月比 7 円高）、交雑牛 B3 1,625 円（前月比 107 円高）であった。

②豚

上旬は気温の低下による花見需要の伸び悩み等により上物相場が 500 円半ばを付ける日もあった。中盤以降はゴールデンウィーク向けの手当てなどから高値推移となったが、平均価格は前年を下回った。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は 597 円（前月比 17 円安）であった。

5月

5月の取扱量は、牛 10,162.5 頭、豚 17,946 頭、1日平均取扱頭数は、牛 484 頭（前月比 81.2%）、豚 855 頭（前月比 89.2%）であった。

①牛

ゴールデンウィーク需要の反動や消費者の節約志向等から消費が振るわず、和牛は前年同月は上回ったが、前月は下回った。交雑牛は和牛代替需要から前月及び前年同月ともに上回り、堅調に推移した。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,284 円（前月比 2 円高）、交雑牛 B3 1,637 円（前月比 12 円高）であった。

② 豚

ゴールデンウィーク明けから、気温の上昇とともに出荷頭数が減少したこと等により相場は上昇し続け、下旬には上物相場が 700 円を超える日もあったが、平均価格は前年を下回った。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は 659 円（前月比 62 円高）であった。

6月

6月の取扱量は、牛 10,866 頭、豚 15,844 頭、1 日平均取扱頭数は、牛 517 頭（前月比 106.9%）、豚 756 頭（前月比 88.5%）であった。

① 牛

全国的に出荷頭数が増加したこともあり相場は下げ基調で推移し、和牛及び交雑牛ともに前月を下回ったが、前年同月は上回った。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,119 円（前月比 165 円安）、交雑牛 B3 1,567 円（前月比 70 円安）であった。

③ 豚

気温の上昇の影響で全国と畜頭数が減ったことにより相場は上昇を続け、上旬から中旬にかけて、また月末にも上物価格を 800 円台に乗せ、平均価格は前年を約 40 円上回る展開となった。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は 794 円（前月比 135 円高）であった。

7月

7月の取扱量は、牛 12,535 頭、豚 16,472 頭、1日平均取扱頭数は、牛 570 頭（前月比 110.1%）、豚 749 頭（前月比 99.0%）であった。

① 牛

消費者の節約志向は継続しているものの、旧盆商戦を前に相場は好調に推移し、和牛及び交雑牛ともに前年及び前年同月を上回った。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,171 円（前月比 52 円高）、交雑牛 B3 1,623 円（前月比 56 円高）であった。

④ 豚

猛暑の影響で肉豚の増体は進まず、前月までと同様に出荷頭数が減少した。相場の伸びは止まらず、上物相場は一時 950 円に迫ったが、下旬に入ると一気に下落した。それでも前年同月を約 30 円も上回る記録的な高値相場となった。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は 866 円（前月比 72 円高）であった。

8月

8月の取扱量は、牛 9,465.5 頭、豚 16,236 頭、1日平均取扱頭数は、牛 526 頭（前月比 92.3%）、豚 902 頭（前月比 120.5%）であった。

① 牛

例年は夏休みの行楽需要により引き合いが強まるが、猛暑の影響もあり、和牛及び交雑牛はともに前年同月よりは値を上げたものの前月を下回る展開となった。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,081 円（前月比 90 円安）、交雑牛 B3 1,576 円（前月比 47 円安）であった。

② 豚

引き続き猛暑の影響で出荷頭数は低調に推移したものの、量販店での輸入豚肉へのシフトや夏休み期間で学校給食が休みとなった影響等で需要が減少したため、相場は緩やかに下落し、前月及び前年同月を下回った。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は668円（前月比198円安）であった。

9月

9月の取扱量は、牛 10,908.5 頭、豚 18,345 頭、1日平均取扱頭数は、牛 545 頭（前月比103.7%）、豚 917 頭（前月比101.7%）であった。

① 牛

引き続き猛暑や、消費者の節約意識が根強いことから引き合いは弱く、和牛は前月こそ上回ったものの前年同月を下回った。交雑牛は出荷頭数の増加もあり、前月及び前年同月を下回る展開となった。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,109円（前月比28円高）、交雑牛 B3 1,523円（前月比53円安）であった。

② 豚

引き続き猛暑の影響もあり、上旬は出荷頭数が伸び悩み、学校給食の再開等から需要が拡大し値上がりを見せたものの、中旬以降は出荷頭数が回復し、相場は下落した。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は646円（前月比22円安）であった。

10月

10月の取扱量は、牛 12,253 頭、豚 21,086 頭、1日平均取扱頭数は、牛 557 頭（前月比102.1%）、豚 958 頭（前月比104.5%）であった。

① 牛

10月に入り暑さが落ち着き、年末向けの手当の動きが例年よりも早い時期から始まったこともあり、和牛は前月から大幅に値を上げた。交雑牛は和牛代替需要もあり堅調に推移し、前月及び前年同月を上回った。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,254 円（前月比 145 円高）、交雑牛 B3 1,609 円（前月比 86 円高）であった。

③ 豚

気温の低下に伴い出荷頭数が増加基調となったことで相場は伸び悩んだ。上物の平均価格は前年同月を下回り、今年一年で最安値となった。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は 556 円（前月比 90 円安）であった。

11月

11月の取扱量は、牛 13,346.5 頭、豚 18,052 頭、1日平均取扱頭数は、牛 702 頭（前月比 126.1%）、豚 950 頭（前月比 99.1%）であった。

① 牛

年末年始向けの手当が引き続き行われたことで月末に向けて相場は上向きで推移し、和牛は下位等級を除き前年及び前年同月を上回った。交雑牛も同様に堅調に推移し、前年及び前年同月を上回った。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛 A4 2,463 円（前月比 209 円高）、交雑牛 B3 1,634 円（前月比 25 円高）であった。

② 豚

気温の低下により出荷頭数は増加したが、鍋物需要等もありこの時期にしては相場は堅調に推移し、一カ月を通して上物相場は 600 円付近での動きを見せた。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は586円（前月比30円高）であった。

12月

12月の取扱量は、牛 14,843.5頭、豚 22,331頭、1日平均取扱頭数は、牛 594頭（前月比84.5%）、豚 893頭（前月比94.0%）であった。

① 牛

牛肉の最需要期を迎え、和牛、交雑牛ともに主要な等級で概ね前月及び前年同月を上回ったが、前年と同様に和牛A5等級は前年同月を下回った。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は、和牛A4 2,500円（前月比37円高）、交雑牛B3 1,666円（前月比32円高）であった。

② 豚

月中盤までは年末年始に向けた手当の動きから需要が拡大し相場は上昇したものの、その動きが一巡した後は右肩下がりに下落するという例年通りの動きを見せた。

豚生体枝肉（上）の月間平均価格は581円（前月比5円安）であった。